

令和4年2月22日

第6回翻訳者育成事業（翻訳コンクール）の結果について 応募者数過去最多、スペイン語部門初実施

文化庁は、日本の文芸作品の優れた翻訳家を発掘・育成する登竜門として、翻訳者育成事業（翻訳コンクール）を実施しておりますが、この度、第6回コンクールの受賞者を決定しましたのでお知らせします。

今回は、①英語部門と、②第1回目の実施となったスペイン語部門を合わせ、過去最多の284名の応募者の中から、両部門それぞれ最優秀賞1名、優秀賞2名が選出されました。とりわけ、英語部門の最優秀賞受賞者は21歳であり、経験年数による習熟も大いにある翻訳分野において、当コンクール過去最年少の方が受賞されました。

今後、コンクール受賞者をはじめ、我が国文芸作品の翻訳に取り組まれる方々が、優れた翻訳家として世界で活躍され、我が国の文芸作品が世界で一層広まっていくことを期待します。また、文化庁としてはそういった方々の活動を強力にサポートしていきたいと考えています。

1 応募数等

応募人数：英語部門 204名 スペイン語部門 80名

選考対象翻訳作品（※）

：英語部門 384 作品（192 名） スペイン語部門 144 作品（72 名）

（※）①小説（鹿島田真希著「波打ち際まで」）、②評論・エッセイ（向田邦子著「お辞儀」）の双方が課題翻訳図書となっているため、作品数は対象者数×2。英語部門12名、スペイン語部門8名については、応募書類の不備等により選考対象外となった。

2 受賞者（敬称略、（ ）内は国籍）

英語／最優秀賞（1名）グラント・ロイド（アメリカ） ※当コンクール過去最年少受賞者



優秀賞（2名）アダム・サザーランド（イギリス）
アダム・クプロウスキー（カナダ）

スペイン語／最優秀賞（1名）エドワード・ロペス（アルゼンチン）



優秀賞（2名）佐野由季（日本）
モンセラト・サバテ・ビスカラ（スペイン）

3 コンクール授賞式及びシンポジウム（YouTube で配信予定）

日程：令和4年3月6日（日）

授賞式 : 14:00~14:45

シンポジウム : 14:45~16:45

(1) 授賞式（受賞者は事前収録によるビデオ出席予定）

(2) 「日本文学」翻訳をテーマとしたシンポジウム（事前収録予定）

① 翻訳コンクール受賞者（英語部門）によるトークセッション

- ・日本文学の翻訳家となることの魅力
- ・世界が翻訳を求める日本文学作品とは - 日本語翻訳者からの視点

② 海外出版社の編集者によるトークセッション

- ・世界が待ち望む日本文学翻訳家とは
- ・世界文学の中で日本文学の翻訳作品が占められる個性・強み - 海外編集者からの視点

4 取材・問い合わせ先

取材を御希望の報道関係の皆様は、3月2日（水）正午までに以下の記載必要事項を下記のアドレスへ電子メールにてお送りください。

<取材申込記載必要事項等>

送信先：bunka-global@mext.go.jp

記載事項：貴社名・部署，御名前，御連絡先（電話番号／電子メールアドレス）

件名：【取材登録】翻訳コンクール関係取材（貴社名）

<担当>文化庁文化経済・国際課グローバル展開
推進室
室長 星野有希枝
専門官 樋口理央

TEL : 03-6734-2872（直通）

FAX : 03-6734-3816

【参考：受賞者略歴】

【英語部門】

最優秀賞

グラント・ロイド氏（アメリカ）

2000 年生まれ

2021 年テキサス大学オースティン校リベラルアーツ学部（経済学）卒業。

日本語能力試験 1 級。

優秀賞

アダム・サザーランド氏（イギリス）

1984 年生まれ

2008 年ケンブリッジ大学日本学科卒業

2013 年よりフリーランス翻訳等

優秀賞

アダム・クプロウスキー氏（カナダ）

1988 年生まれ

2010 年トロント大学（カナダ）卒。

2014 年マギル大学歴史修士課程修了

フリーランス翻訳等

【スペイン語部門】

最優秀賞

エドワルド・ロペス氏（アルゼンチン）

1959 年生まれ

1986 年よりフリーランス翻訳等

現在は東京在住

優秀賞

佐野 由季氏（日本）

1967 年生まれ

1987 年宮城学院女子短期大学教養科卒業

2013 年よりスペイン留学

マドリードでフリーランス等

優秀賞

モンセラト・サバテ・ビスカラ氏（スペイン）

1982 年生まれ

2010 年バルセロナ自治大学在学中に 1 年間名古屋大学に留学

2013 年よりフリーランス翻訳等

2019 年バルセロナ自治大学修士課程（映像翻訳）修了

現在は埼玉県在住